



# 認 定 書

国住指第1021号  
平成14年2月4日

三菱マテリアル建材株式会社  
代表取締役 野田文彦 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第九号及び同法施行令第108条の2（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
NM-9259
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称  
繊維混入けい酸カルシウムセメント押出成形板
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容  
別添の通り

認定番号	<del>不燃(個) 第11123号</del>	認定年月日：平成元年1月31日 (変更：平7.3.16)
品目名	<del>纖維混入けい酸カルシウムセメント押出成形板</del> 甘皮成形板	申請者名：三菱マテリアル建材(株) 東京都新宿区新宿2-3-10 (新宿御苑ビル) TEL(03)5269-7801
工場名：建材事業本部 市川工場 兵庫県神崎郡市川町神崎 769-1 TEL(0790)28-0212		明菱マテリアル(株) 明野工場 茨城県真壁郡明野町鍋山 738 TEL(0296)52-5700
<del>特許番号</del>		道菱マテリアル(株) 美明工場 北海道美幌市東8条北5-1-1 TEL(01266)8-8460

- 主たる用途 建築物の壁
- 試験機関名 (財)建材試験センター中国試験所 受託番号 依試第40848号  
試験機関名 (財)ペタリービング筑波建築試験センター 受託番号 依試第941800号
- 製品の形状、寸法等(単位 mm)

形状	中空板			中実板		
表面の形状	平滑及びエンボス(深さ3mm以下)			平滑		
厚さ(総厚) t (mm)	50±2	60±2	75±2	100±2	20±2	25±2
厚さ(肉厚) t1 (mm)	10±1	11±1	15±1	15±1	12±1	12±1
幅 w (mm)	—	390±0 ±2	—	—	—	—
	440±0 ±2	440±0 ±2	—	—	—	400±0 ±2
	490±0 ±2	490±0 ±2	—	—	450±0 ±2	—
	590±0 ±2	590±0 ±2	590±0 ±2	590±0 ±2	500±0 ±2	500±0 ±2
	900±0 ±2	900±0 ±2	—	—	—	—

耐火三七二号

	$1200 \pm 0$ $-2$	$1200 \pm 0$ $-2$	—	—	—	—
長さ (mm)	3000~5000 +0 -2		5000 +0 -2以下			
嵩比重	1.8±0.2 (中空部含まず)					
重量 (kg/m <sup>2</sup> ) (中空部含む)	47±5	52±5	71±7	82±8	28±3	31±3
含水率 (%)	10以下 (出荷時)					
曲げ強度 (kg/cm <sup>2</sup> )	100以上					

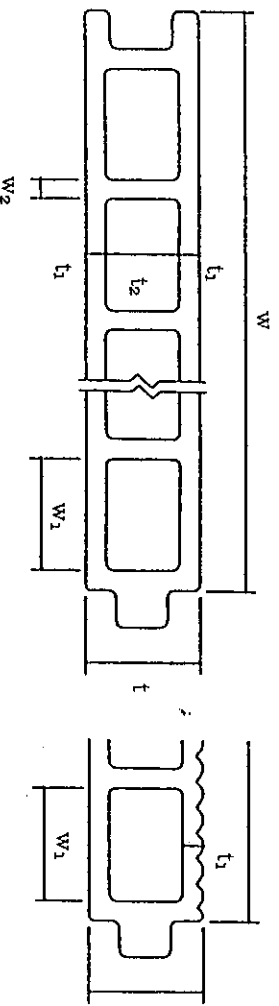
4. 防火処理の概要なし

5. 構成(組成)、断面図(単位 mm)

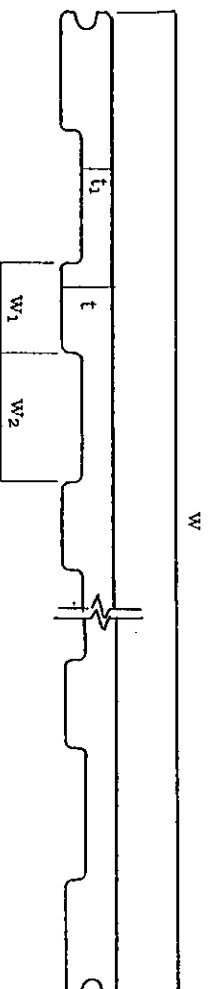
纖維混入けい酸カルシウムセメント押出成形板 ~~メーヌ NA~~

組成	普通ポルトランドセメント (JIS R 5210)	55
	けい酸質原料 (シリカ系)	41
	有機纖維 (セルローズ纖維)	3
	有機混和材 (メチルセルローズ)	1

耐火三七二号



※ エンボスの深さは 3mm以下。



中空板				中実板						
t	t1	t2	w	w1	w2	t	t1	w	w1	w2
50	10	30	440	58	10	20	12	450	40	50
			490	55.5						
			590	60						
			900	56.4						
			1200	58.2				500	40	48
			390	60.4						
			440	57						
			490	54.4						
60	11	38	590	58.8	11	25	12	400	37	48
			900	55.4						
			1200	57.2						
75	15	45	590	57	12		500	40	48	
100	15	70	590	55.1	14					

耐火三七二号

6. 施工仕様

1) 中空板の場合

間仕切り部に墨出しを正確に行い、纖維埋入けい酸カルシウムセメント押出成形板(メーヌNA)の下部は墨に従ってアンカーボルト又は、アンカーピンで固定した床レベル(軽量薄形鋼)に落とし込み固定する。

上部は予め取付けた山形鋼(アングル)に2クリップ(ホルムM8以上)で留付ける。

上部の隙間には、不燃パッキング(ロックウール又は、グラスウール)を充填する。横端部(壁付、柱付)は、突付けで不燃パッキング又は、無機質断熱材を充填する。パネル相互間のかん合部は、突付け、又は不燃パッキングを充填し目地部は目地処理材(弾性シーリング材又は、モルタル)で仕上げる。

尚取付金具は必要に応じて耐火被覆をする。

2) 中実板の場合

間仕切り部に墨出しを正確に行う。

柱部取付用軽山形鋼(L-50×50×2.3)をパツクンピン等で固定する。

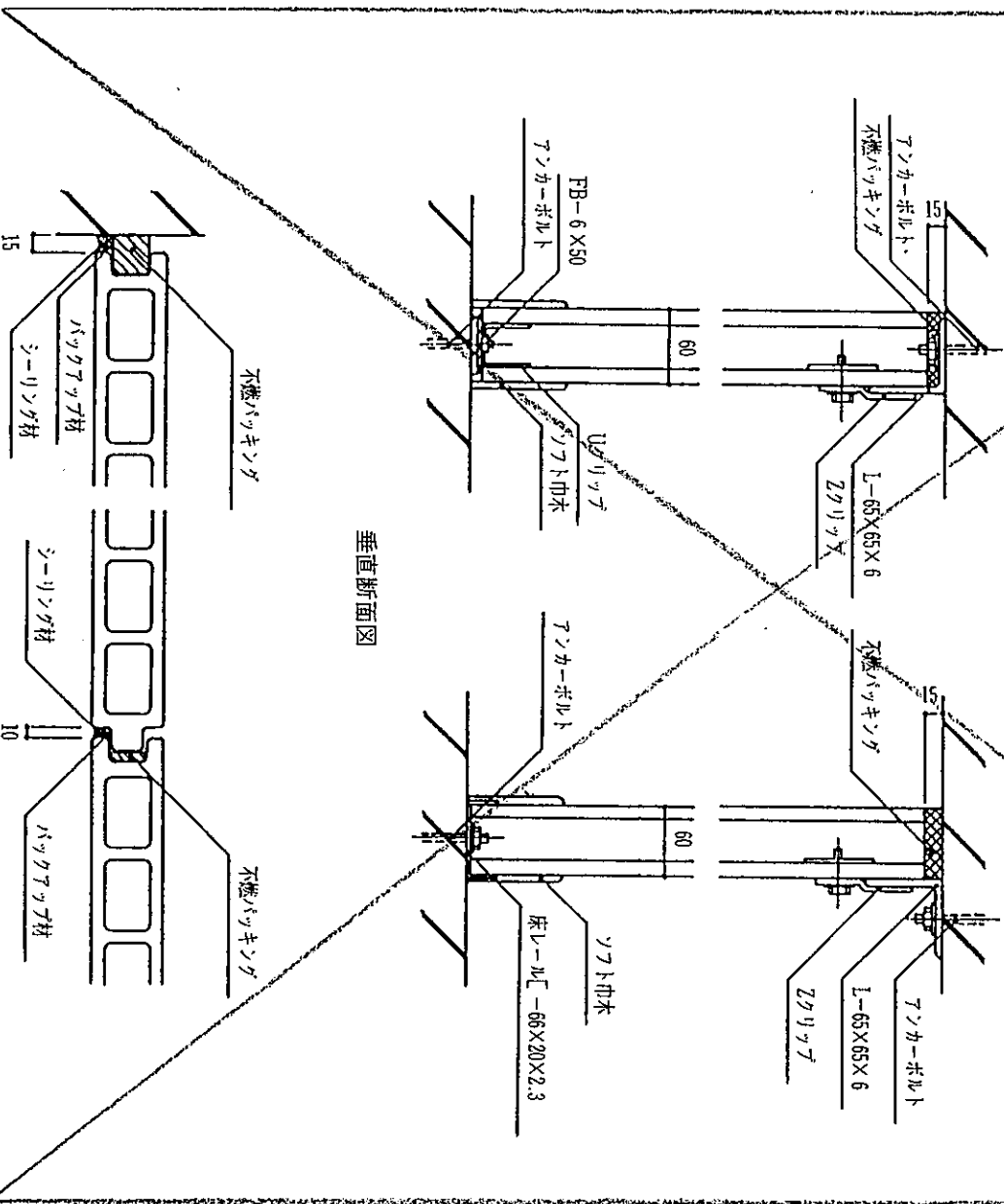
890-4516-1

方立 ( L - 50×40×30×2.3 ) 又は C - 75×45×15×1.6 固定用のランナー ( C - 56×45×15×2.3、長  
 さ200 ) を上・下部にパツクアピン等で取付ける。  
 控えボルト用コンクリートアンカーを打込む。  
 方立 ( L - 50×40×30×2.3 ) 又は C - 75×45×15×1.6 を建込み、タツピングビス等で固定し、控えボ  
 ルトで出入りを調整する。  
 方立 ( L - 50×40×30×2.3 ) 又は C - 75×45×15×1.6 にパネル接着用テヂルテーを張付け、最下層  
 のパネルから建込みを進める。

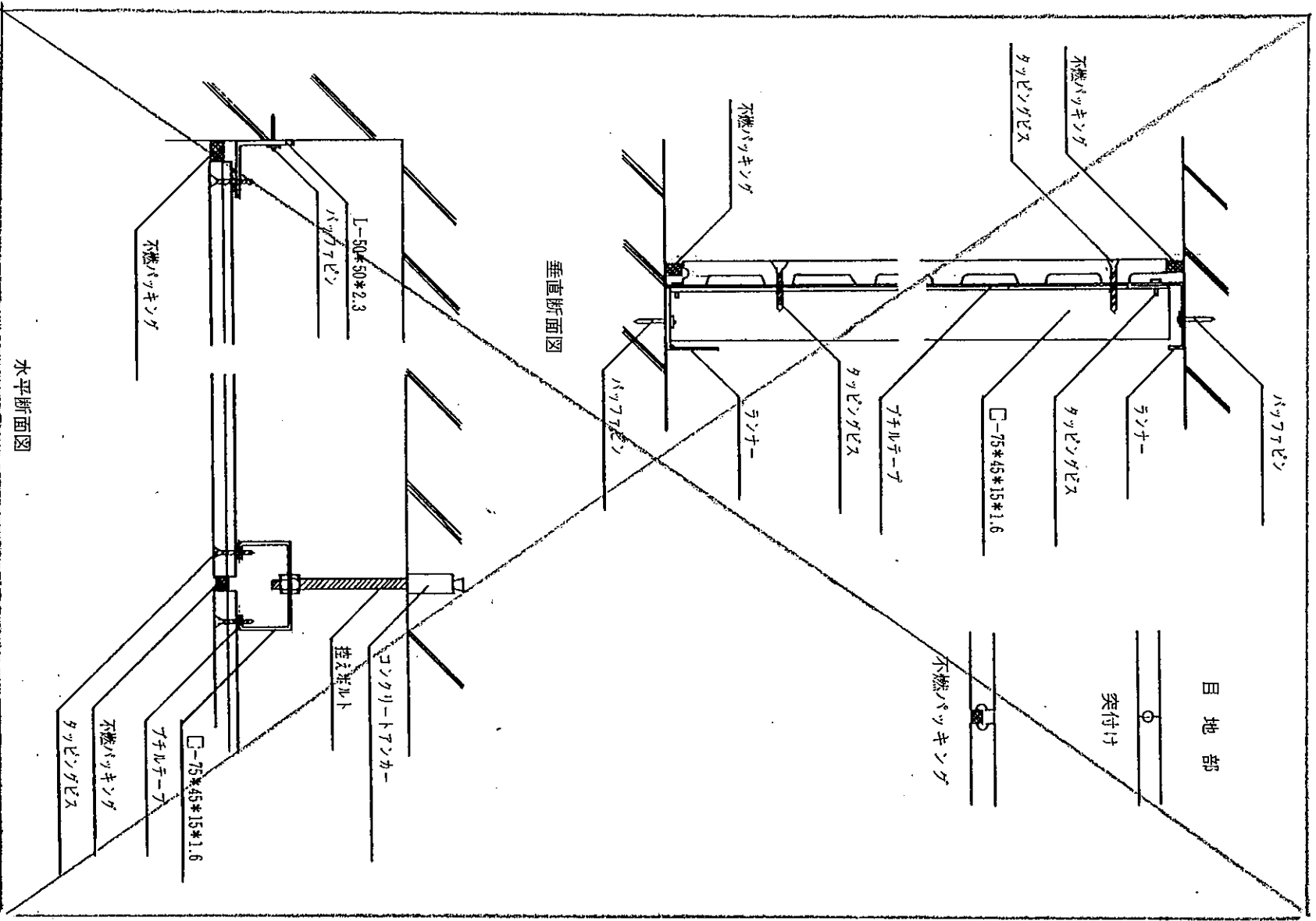
パネル間の横目地部は、突付け又は不燃パツキングを充填する。  
 パネルは、タツピングビス等で固定する。

パネルの縦目地部、上・下部、横端部(壁付、柱付)は、不燃パツキング又は無機質断熱材を充填する。

7. 標準施工図(単位 mm)



水平断面図



耐火三七一号

8. 施工管理

施工は三菱マテリアル建材株式会社の責任施工（建設業者登録番号：建設大臣許可（般-4）第5771号）又は、三菱マテリアル建材株式会社が責任をもつて「標準施工技術指導書」及び「検査要領書」に基づき施工者を指導する。

9. 表示及び報告

- 1) 製品に右図の表示マークを貼付又は押印する。
- 2) 製品の包装材の表面に右図の表示マークを印刷する。
- 3) 現場施工後、壁面に2ヶ所以上、右図の表示マークを貼付する。
- 4) 毎年度、本製品の生産実績、販売実績（又は使用実績）、品質管理の状況等を当該年度終了後1ヶ月以内（4月1日～4月30日）に建設大臣に報告する。

